

令和5年度 中央区男女平等共同参画推進会議（第2回）会議録

開催日時 場 所	令和6年1月19日（金） 午前10時から午前11時まで 男女平等センター 研修室
出席者	委員 袖井委員、竹信委員、細谷委員、篠原禎子委員、廣野委員、河本委員、三田委員 萩原委員、福田委員、篠原良子委員、榮木委員、杉田委員、佐藤委員
	事務局 総務課長、男女共同参画係長、男女共同参画係員
配付資料	◎会議資料 資料1 「中央区男女共同参画行動計画2023」進捗状況報告書式（案） 参考資料1 中央区男女平等共同参画推進会議 委員名簿 参考資料2 「中央区男女共同参画行動計画2018」進捗状況報告書（令和4年度）
議事概要	1 開 会 2 議 事 （1）「中央区男女共同参画行動計画2023」の進捗状況報告書式（案）について （2）その他 3 閉 会
会議経過	別紙のとおり

会議の経過（議事要旨）

1 開会

総務課長から、中央区女性ネットワークの委員が勝倉氏から三田氏に変更となった旨を報告した後、会議資料及び傍聴希望者がいない旨を確認した。

2 議事

(1) 「中央区男女共同参画行動計画 2023」の進捗状況報告書式（案）について

- ・ 総務課長から、資料1及び参考資料2により、報告書式の主な変更点を中心に説明した。

（質疑応答）

袖井会長：1施策1シートでまとめているということだが、A4横の紙に2シート並べているため、文字が小さく読みづらさを感じる。また、前年度実績の比較についても、これまでのような横並びではなく、<>付きの併記となっており見にくいと感じる。

総務課長：会議資料としてはA4横に2アップとしているが、案の段階であるため、1ページ1シートにすることも可能。前年度実績数値の表記方法なども工夫する。

佐藤委員：前提として、男女共同参画行動計画は、誰に向けたどのような計画なのか確認したい。

総務課長：区民や事業者に対して、区として男女平等及び共同参画に取り組んでいくべき内容が記載されている。計画の考え方を基本に、さまざまな施策や事業を区が責任をもって実施していくという宣言でもある。今回示している進捗状況報告書は、計画の推進にあたり、掲げた施策や事業の実績・成果を記載するものであり、これをもとに委員から評価・意見をいただき、改善やさらなる推進につなげていくものである。

柴木委員：事業実績の前年比較は記載されているが、これまで記載欄を設けていた“工夫した事項”はどうするのか。全ての事業については記載しきれないため、内容の取捨選択や一部省略が必要と思うが、実績のみの記載では事業がどのように工夫されたかが見えない。何らかの形で工夫した事項を記載する必要があると思うが、その点についてどう考えているか。

総務課長：工夫した事項については、事業実績の欄に記載する予定。実績欄には【総括】【主な実績】に加えて【その他】を設け、各事業の工夫した点や成果などを記載する。ただし、事業が多い施策については、一部抜粋して記載するほか、必要に応じて口頭での補足説明も行う。当該書式による報告は次回会議が初となるが、本日の意見も反映させた書式を使用する。さらに改善点や工夫すべき点があれば、都度見直しを行いながらわかりやすい説明に努めたい。

柴木委員：各年度の事業実績や前年比較などは重要な要素であるため、記載を充実してほしいと思う。次年度に向けての欄が大きく感じるので、事業実績の欄と次年度に向けての欄の比率を8：2程度にするのはどうか。

総務課長：次年度の報告時には、今回のフォーマットを基本としつつ、各欄の幅や実績・工夫した事項などの記載内容をご意見をもとに工夫してお示ししたいと考えている。

袖井会長：やはり1ページに2シートあるのは窮屈に見える。もう少しゆとりをもって作成してほしい。また、実績や成果は重要な要素であって、それらを【その他】の欄に記載しない方がよいと思う。

総務課長：ご意見を踏まえて、書き方を工夫して次回お示ししたいと考えている。

袖井会長：進捗状況報告書の広報はどのように行われているのか。ホームページや区報あるいは区内女性団体に対する説明会などを開催しているのか。計画の進捗状況は区民にどの程度伝わっているものなのか。

総務課長：ホームページで公表しているのみである。

袖井会長：区によって周知方法は異なると思うが、男女平等センターを会場にして年に1回程度説明会を開催してはどうか。

総務課長：本日は傍聴者がいないが、本会議は公開されている。いただいたご意見については、他区の状況も確認していきたい。

袖井会長：区報には進捗状況を掲載しているのか。

総務課長：区報には掲載していない。ホームページでのみ周知している。

萩原委員：計画は5カ年計画だが、進捗状況報告書では前年比較しか確認できない。5年間の各事業の実績推移はどうすれば確認できるのか。計画の最初と最後を比較する手段はあるのか。

総務課長：計画改定の際にはそれまでの実績を確認できるよう整理し、実績や傾向等を踏まえて次期計画の検討をしているが、例年の進捗状況報告の際には、各事業の過去実績を一覧化するなどの傾向分析まではしていない。

竹信委員：誰に対してどのように情報を発信するかが非常に重要である。先ほど会長から年に1回説明会をしてはどうかという提案があり、この場がそれに代わるものという認識とのことであったが、それならば、「次の推進会議で計画の進捗を報告するから積極的に参加してください」のように区民に呼びかけるとともに、各委員が所属する団体の構成員からも参加者を募り発言を求めるなど、会議の場を説明会としても有効に活用してはどうか。

総務課長：本会議は公開であるため傍聴でき、開催日時や議題は事前にお知らせしている。委員の所属する団体に参加を呼びかけていただくことは差し支えない。ただ、説明会という形で計画の進捗報告の機会をつくるかどうかについては、他区の状況も確認しながら、次回の会議でとりまとめてご回答できればと考えている。

竹信委員：会議の予告をしていることも、この場が説明会としての性質も持ち傍聴ができるということも仰るとおりであるが、漫然と会議を予告しても関係者である私たち委員に対する出席依頼のように思われるだけではないか。開催を予告する際にはメリハリをつけ、「今回は区民に向けた説明会を兼ねているので、男女共同参画施策の実施状況に関心のある方は是非お越しく下さい」のように周知や見せ方を工夫すれば、もっと多くの人に関心を寄せてくれるのではないか。また、区内の関係団体から素晴らしい方が委員として参画しているので、所属団体の方々に声をかけて参加してもらうことも気づきが得られると考える。

袖井会長：例えば、この会議に参加している委員から所属する団体の構成員に対して会議の周知や案内をしてもらうよう、区から依頼はしていないのか。

総務課長：委員個人への案内のみで、団体の構成員への周知については依頼していない。

袖井会長：団体の代表の方から意見はないか。

三田委員：区報には、新たな計画が策定されたことのお知らせは掲載されていた。男女共同参画に関心がある方は、こうしたお知らせをきっかけに会議の傍聴に来ていただければ良いと思うが、個人の意思でそこまで行動することは難しいと思う。女性ネットワークでは5月に総会が開かれ、総会後に区長、総務部長、総務課長といった区関係者との懇談の時間を設けている。こうした機会を利用して、会議の場で計画の進捗状況を説明して、皆さんにも参

加してもらおうように話していただけるとよいと思う。会議があることやどんな話し合いをしているのかを知ってもらっただけでも意味があるため、男女共同参画係と相談しながら実現に向けて進めていきたい。

河本委員：海外研修者の会では、推進会議の内容を含め男女共同参画に関する一部の情報を必要に応じて共有している。コロナ以前は、ヴィラ本栖などさまざまな場所の会議室を借りて研修会を開催し、男女共同参画のことを学び、意見交換していた。区が実施する男女共同参画施策の全てを伝えることは難しいが、身近なことには興味があるので、お伝えすると会員からも反応が返ってくる。

篠原良子委員：私たちの団体では、男女共同参画に関係するテーマを決め、団体会員以外の区民の方にも声を掛けてお互いに語り合う会を年3回実施している。そうすると自分たちにも区の施策の方向性が見えてくるし、身近にいる区民の方の考えもよく分かる。子育て、虐待、子どもの貧困、ヤングケアラーなどさまざまな問題が区内においても身近に迫ってきていると感じる。説明会への参加をきっかけに新たな気づきを得ることもできると思うため、一度やってみてはどうかと思う。竹信委員の提案に賛成である。

袖井会長：とても良い提案であり将来の発展に期待できる意見である。こうして寄せられた皆さんからの意見を次の行動計画に反映できると思うため、活動を継続していただきたいと思う。

(2) その他

袖井会長：事務局からその他の報告事項はあるか。

総務課長：区ホームページに掲載する議事要旨は、本会議の前身である男女共同参画推進委員会の頃から、発言した委員については「〇〇委員」という形ではなく、委員のお名前を伏せて単に「委員」という形で掲載していたが、会議は公開が原則であることや、他の会議体との整合等を考慮して、今回の会議以降に作成される議事要旨においては、発言された委員のお名前を明記したいと考えている。なお、議事要旨の作成に当たっては今後も従来通り、発言内容に関する各委員の確認・了承を経るという流れに変更はない。いかがか。

河本委員：他の委員会では委員名は明記されているのか。

総務課長：概ね明記されている。一部明記されていない会議もあるが、本会議は原則公開であり、傍聴者がいれば発言者も明確になる。また、委員の氏名や所属団体等が公表されていることも踏まえると、委員名を明記することが適当と考える。

袖井会長：発言内容がご自身の意図したものであるかあらかじめ確認の機会があるとのことなので、ご了承いただきたい。

(委員からの反対意見がないことを確認)

3 閉会

袖井会長：閉会に当たり、事務局から事務連絡はあるか。

総務課長：事務局から来年度の会議開催日程と委員改選についてお伝えする。第1回会議は夏以降の開催を予定しているが、現委員の皆さまの任期は令和6年5月末までとなっており、次回会議は新たな委員の皆さまにお集まりいただくことになる。今後の流れとして、3月中旬に、関係団体の代表者に次期委員の推薦をお願いする予定である。区民に参加いただくた

めの公募についても同時期に区のおしらせに掲載する。現委員の皆さまは実質的に本日が最後の会議となる。この任期の間、行動計画の改定という大きな案件があり、委員の皆さまからさまざまなご意見、お力添えをいただいたことに改めて感謝申し上げます。本日いただいた意見、これまでにいただいた意見を踏まえながら、区としても今後の施策にしっかりと反映し、展開していけるように努めていきたいと考えている。

袖井会長：これをもって、令和5年度第2回中央区男女平等共同参画推進会議を閉会する。

以上